



## AOMORI GOKAN

青森県5つの美術館 連携プロジェクトを始動

## 「5館が五感を刺激する—AOMORI GOKAN」

青森県では、本年弘前市に「弘前れんが倉庫美術館」が開館し、明年2021年、(仮称)八戸市新美術館の開館を迎えることを機に、県内5つの美術館とアートセンター〈青森県立美術館、青森公立大学国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、(仮称)八戸市新美術館、十和田市現代美術館〉が連携し、各施設が持つ特徴と県内のアートや文化をつなぎ、青森県の魅力として国内外に発信する青森5館連携プロジェクトを始動しています。今後、有識者を招いたアートフォーラムや、共通のテーマで開催する企画などの実施を予定しているほか、このたび5館連携の情報について掲載する公式サイトを開設し、先行サイトを公開しました。サイトへは今後、5つの施設の展覧会スケジュールが一同にみえる機能や、5館と周辺のアートスポットをつなぐ周遊プランなどを加え、アートを軸に多様化する旅に対応したポータルサイトを目指します。またアートディレクターの野間真吾氏がデザインした、本プロジェクトのロゴとメッセージ「5館が五感を刺激する—AOMORI GOKAN」が決定しました。

\*2020年10月31日に予定しておりましたフォーラム〈アート県「青森」の挑戦〉は2021年2月27日に延期します

## 記

プロジェクト名	5館が五感を刺激する—AOMORI GOKAN
参画する美術館/ アートセンター	青森県立美術館 青森公立大学国際芸術センター青森 弘前れんが倉庫美術館 (仮称)八戸市新美術館 十和田市現代美術館
共通WEBサイト(先行)	<a href="http://aomorigokan.com/">http://aomorigokan.com/</a> *2021年2月を目処に本サイトをアップいたします

## 青森5館連携プロジェクトについて |

青森県内にある5つの美術館、アートセンターが連携し、青森のアートの魅力を国内外に発信するプロジェクト。県民及び観光客による県内の周遊を通して文化、経済、教育など幅広い分野での地域振興を目的としています。

## プロジェクトロゴについてメッセージ | アートディレクター 野間真吾

青森を代表する5つの美術施設が、アートを通じて青森からその魅力を連携し発信する。情報の受け手は、アートから刺激を受けるだけでなく、5つの施設や立地する“場”そのものからも刺激を受け、さらに青森への興味は深まっていく…。そんな流れを想像し、プロジェクト名は“AOMORI GOKAN”と名付けられました。プロジェクトロゴは、アラビア数字の“5”と Sense (感覚) の“S”の両方のかたどるシルエットになっています。縦になっても横になってもかわることなく、“5 Senses (=GOKAN)”を表し、5館が五感を刺激しつづけることを示唆しています。

野間真吾 プロフィール：アートディレクター／デザイナー ロンドン芸術大学 (London College of Communication MA Graphic Design) 修士課程卒。国内外のデザイン会社を経たのち、2008年株式会社佐藤卓デザイン事務所入社。2017年1月にデザインオフィス “NOMA Inc.設立。 ISSEY MIYAKE KYOTO | KURA のアートディレクターを務める。